

令和7年度 積志中学校 学校評価

I 令和7年度の取組 スローガン【SKS 最高の 絆の花を 咲かせよう】 学校教育目標【志を持ち自ら学び高め合う生徒の育成】

◎授業の充実
主体的で・対話的で深い学びを通して、
学びの質を高める授業の創造

◎集団活動の充実
集団活動を通して、自己有用感の醸成と
子供の居場所づくり

◎体験活動の充実
質の高い体験活動を通して、学びが社会と
つながっていることが実感できる取組

II 自己評価

○生徒の評価

	R6	R7
1. 私は、321を意識するなど授業態度向上を目指している。	92.3%	94.7%
2. 私は、グループ活動で積極的に友達と意見交換している。	91.1%	89.5%
3. 私は、予習・復習など家庭学習をきちんと行っている。	65.8%	75.5%
4. タブレットPCを使用した調べ学習やプレゼン作成等に積極的に取り組んだ。	86.1%	89.3%
5. 私は、自分からあいさつをしている。	95.4%	92.1%
6. 私は、SNSのメリット・デメリットを理解し、意識しながら使用している。	93.3%	93.0%
7. 私は、いじめや命について真剣に考えている。	96.8%	98.0%
8. 私は、悩みや心配事に対して相談できる人がいる。	95.1%	91.4%
9. 私は、毎日、朝ご飯を食べている。	95.9%	95.0%
10. 給食日より、食育の日を通して「食育」について意識するようになった。	65%	69.9%
11. 私は、給食を好き嫌いなく、毎日、残さずに食べている。	87.1%	87.1%
12. 私は、体調管理を意識しながら生活している。(感染対策含む)	92.5%	90.6%
13. 私は、部活動等に目標を持って一生懸命、取り組んでいる。	94.1%	94.2%
14. 私は、部活動等に同級生、先輩、後輩と協力しながら取り組んでいる。	93.5%	93.4%
15. 私は、部活動等と勉学を両立(文武両道)できるよう努力している。	81.4%	85.6%
16. 私は、文化発表会に意欲的に参加した。	93.7%	95.1%
17. 私は、体育大会に意欲的に参加した。	96.5%	95.2%
18. 私は、学年活動(福祉体験・職場体験・野外活動・修学旅行)に意欲的に参加した。	98%	95.3%
19. 私は、生徒会活動、委員会活動、係活動に積極的に参加している。	89.5%	87.9%
20. 私は、交通ルール・マナーを守り、交通事故に気を付けている。	99%	99.2%
21. 私は、地域の活動に参加した。(ボランティア・地域防災・祭典など)	64.6%	57.8%
22. 私は、自分が住んでいる積志地区が好きだ。	94.9%	95.8%

○職員の評価

授業 落ち着いた学習態度は身についている。主体的に考え、行動できるようにしたい。ICTを効果的に利用した学習活動を行えた。

集団 特に二大行事では、実行委員やリーダーが中心となって活動し、主体的に取り組める活動ができた。3年生の活躍が下級生の大きな刺激になった。

体験 校外活動、職場体験、ババママ体験や講師を招いての講話等、全学年、充実した体験をさせることができた。

いじめ対策 生活アンケート等の表れには、早期に聞き取りをし、対策委員会での情報共有をし多くの職員で早期に対応できた。情報モラル講座を全学年実施することで、SNS利用に関する指導を継続して行うことができた。

○保護者の評価

	R6	R7
1. 私は、学校経営方針や年間行事について理解している。	76%	78.4%
2. 私は、学校行事などは、子供の様子を見に行っている。	85%	88.9%
3. 子供は、家庭で学校での様子や友達についての話をする。	80%	79.7%
4. 子供は、夜更かしなどせず、規則正しい生活を送っている。	66%	65.2%
5. 子供は、予習・復習・課題など家庭学習にきちんと取り組んでいる。	61%	60.6%
6. 子供は、学校行事を楽しみたいと感じ、意欲的に取り組んでいる。	88%	90.0%
7. 子供は、目標を持って部活動や地域クラブに参加している。	78%	84.9%
8. 子供は、健康や安全に気を付けて生活している。	92%	92.5%
9. 学校は、子供が学習内容を理解できるよう支援している。	74%	77.9%
10. 学校は、子供の良さを認め、積極的に声かけをしている。	71%	82.5%
11. 学校は、子供に希望や目標を持たせるような授業や集会を行っている。	79%	83.0%
12. 学校は、命を大切に活動する積極的にしている。	85%	87.9%
13. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	85%	89.0%
14. 学校は、子供の健康に気を付けた取組をしている。	89%	91.9%
15. 子供には、家庭の中で役割があり、手伝いをさせている。	63%	59.7%
16. 子供と一緒に夕食を食べるようにしている。	95%	94.3%
17. 休みの日の過ごし方で子供の外出先や交遊関係などを把握している。	97%	96.8%
18. 子供とゲームやSNSの使い方についてルールを決めている。	77%	75.7%

III 学校運営協議会による学校関係者評価

- ・全体的に評価が高く、良い成果が出ている。
- ・家庭の中で、SNSの使い方についてルールを決めている割合が低い。高校生は、SNSを介した闇バイトの非行や不適切な動画拡散の非行が非常に多い。いずれその問題は中学生にもおとくる。
- ・SNSの扱いやルールについては、保護者への啓蒙活動も必要なのではないか。スマホを買い与えているのは家庭であり、ルールを決めるのは家庭にしかできないことである。
- ・サイバーセキュリティについては、保護者よりも子どもの方が詳しいのではないかと。親子で一緒に学ぶ場があってもよいと思う。
- ・地域の活動に参加している生徒の割合が低い。祭典会場に来る中学生は多いが、屋台を引いたり、片付けをしたりという姿は少ない。大人の参加者から中学生に積極的に声を掛け、一緒に活動しようとする必要があるのではないかと。
- ・地域防災訓練は、実際にかかったときのためであり、その際中学生は「助ける側」である。地域の活動ではあるが、学校から参加を促してほしい。
- ・休日の部活動地域展開については、学校運営協議会として避けては通れない議題である。来年度も学校と情報を共有し、できるサポートをしていきたい。
- ・夏休みの学習ボランティアについては、昨年度よりも日数は少なくなったが、その分効率よく支援することができた。来年度も同程度で開催できるとよい。

IV 今後の改善方策

学びの充実：生徒の知的な好奇心を刺激し、自ら探究しようとする主体性を引き出す授業を実践する。個に応じた目標設定をし達成感を味わわせる。授業への地域人材の活用を推進する。

縦割り活動の充実：人と人との関わり合いの中で、人間関係上のスキルや多様性への理解を育てていく。行事では生徒も教師もアイデアを出し合って、生徒が前面に出た活動を実践をする。

自己有用感：授業や縦割り活動では、生徒同士、生徒と職員の関わりの中で、自己有用感を醸成させる工夫をした活動を実践していく。また、互いに自己有用感の高まる言葉かけをする。

ポジティブ思考：講話やグループワーク、エクササイズ等を通して、物事をポジティブに考え、挑戦する姿勢を養う。小さな成功体験を積み重ね、互いに喜び合える集団作りをする。

いじめ対策：講話や道徳授業を通してのちの大切さについて考える機会をもつ。定期的な教育相談や生活アンケート等でいじめや不登校の早期発見、対応をする。

SNSに対する指導：情報モラルについての講座を継続して行う。内容について保護者にも周知し、SNSの使用について親子で会話をする場を設けられるようにする。